貸 借 対 照 表 (平成 18 年 2 月 28 日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	44 507 400	(負債の部) 流動負債	7 267 227
│ 流 動 資 産 │ 現 金 及 び 預 金	41,587,400 28,545,016	一流 動 負 債 買 掛 金	7,367,327 2,054,098
日 現 並 及 び 頂 並 売 掛 金	367,463	未払金	2,034,098 867,869
	·		
商品	142,932		637,538
原材料	357,000	未払消費税等	237,700
貯蔵品	48,075	未払費用	2,437,217
前払費用	1,028,010	預り金	100,248
短期貸付金	860	賞 与 引 当 金	548,362
預け金	10,000,000	設備関係未払金	368,741
短期差入保証金	435,785	その他	115,551
操延税金資産	463,602	固定負債	567,509
せる の 他 R ウンターキ	198,652	退職給付引当金	277,642
固定資産	24,364,673	役員退職慰労引当金	280,147
有形固定資産	13,206,753	そ の 他	9,719
建物	8,567,268	A 11	
構築物	1,402,174		7,934,836
車 両 運 搬 具	406	(資本の部)	
器具備品	1,260,594	資 本 金	7,125,000
土地	1,932,575	資本 剰余金	9,785,039
建設版勘定	43,732	資 本 準 備 金	9,784,750
無形固定資産	512,229	その他資本剰余金	289
営業権	48,686	自己株式処分差益	289
情 地 権	89,062	利 益 剰 余 金	40,822,073
電話加入権	120,415	利 益 準 備 金	1,383,533
ソフトウェア	218,092	任 意 積 立 金	36,408,273
施設利用権	35,972	固定資産圧縮積立金	8,273
投資その他の資産	10,645,690	別途積立金	36,400,000
投資有価証券	683,126	当 期 未 処 分 利 益	3,030,266
長期貸付金	53,580	株式等評価差額金	285,124
長期前払費用	319,314	その他有価証券評価差額金	285,124
長期差入保証金	8,898,516		
繰延税金資産	505,759		
そ の 他	185,392	資本合計	58,017,237
資 産 合 計	65,952,073	負債及び資本合計	65,952,073

損 益 計 算 書

平成 17年3月1日から 平成 18年2月28日まで

(単位:千円)

		科	目	金額
		営	業 収 益	94,560,181
	営		売 上 高	94,473,697
経	業		その他の営業収入	86,483
	損益	営	業 費 用	92,600,615
常	曲の		売 上 原 価	31,385,012
	部		販売費及び一般管理費	61,215,603
損			営 業 利 益	1,959,565
**	営			
益	業	営	業外 収益	272,472
の	外		受 取 利 息	37,280
	損		その他の営業外収益	235,191
部	益(営	業 外 費 用	117,529
	の部		その他の営業外費用	117,529
	HP	l		2,114,509
		———— 特		579,516
特		19	固定資産売却益	333,109
別			親会社株式売却益	246,406
損		特	別損失	791,565
益			固定資産廃棄損	253,639
စ			減 損 損 失	457,125
部			賃 借物件解約損	4,228
			その他特別損失	76,572
	_	税引	前当期純利益	1,902,459
		法人税	、住民税及び事業税	1,242,842
		法人	税 等 調 整 額	157,968
		当	期 純 利 益	817,585
		前 期	繰 越 利 益	2,738,475
		中 [525,794
		当 期		3,030,266

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

〔その他有価証券〕

・時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

・時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

[商品、原材料及び貯蔵品]

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

[有形固定資産]

定率法

[無形固定資産]

定 額 法(自社利用ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年))

(4) 引当金の計上基準

〔賞与引当金〕

従業員に対する賞与支給のため、支給見込額基準により計上しております。

[退職給付引当金]

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。過去勤務債務は従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による按分額を処理しております。また、数理計算上の差異についても、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による按分額を翌期より処理することとしております。

[役員退職慰労引当金]

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づいて算出した期末要支給額を計上して おります。 なお、この引当金は、商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 消費税等の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

2.注 記 事 項

(貸借対照表関係)

(1) 支配株主に対する短期金銭債務

27,017千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

27,087,228千円

(3) 貸借対照表に計上した固定資産のほか、厨房設備一式及び情報関連機器一式についてはリース契約により使用しております。

(4) 支配株主に対する長期金銭債権

114,432千円

(5) 保証債務

248千円

(6) 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額

285,124千円

(損益計算書関係)

(1) 支配株主に対する営業費用

株式会社イトーヨーカ堂

101,857千円

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

70,218千円

(2) 1株当たり当期純利益

24円74銭

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てております。